

令和8年度 第2回 藤沢市立本町小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2026年 7月1日（水） 11時～13時
場 所 本町小学校 多目的室

出席委員	吉田 早苗 （本町地区社会会議体育協議会） 金本 美智 （西部地区青少年育成協議会） 中林 奈美子 （元本校 PTA 役員） 栃本 親 （たまじやり応援団会議） 橋本 幸直 （藤沢市民センター） 久保 淑恵 （本校保護者） 岩渕 央歩 （本校卒業生 大学生） 近 尚昭 （本町小学校 校長） 以上 10 名出席 （事務局） 藤井 友紀 （本町小学校 教頭） 佐々木 恒平 （本町小学校 職員）
次第	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 学校長より（学校の近況など） 4. 議題 (1) 学校運営協議会の今後の取組について（意見交換） (2) その他 5. 校内見学 6. 給食試食会 7. 閉会
協議内容	3. 学校長より（近況報告） …見守り等のお手伝いについて ①水泳授業 見学児童の見守り 水泳指導期間 6/15～7/10 8 名の方が、56 コマ中 24 コマのお手伝い（1 コマ 2 時間） ※雨天等で授業が中止になる場合はなし ②6 年生鎌倉めぐり 6/19（金） 7 名の方に、3 か所のポイントで児童の班行動の見守りをしていただいた。 当日は、「がっこうボランティア」と書かれたオレンジの腕章をつけていただいた。 ③5 年生米作り 6/9 田植え 今年は 6/2 に事前指導として地域の方々（こめこめクラブ）に来校していただいた。 →学校（子どもたち、先生）にとって、地域とのかかわりの機会が増え大変よかった。

4（１）学校運営協議会の今後の取組について

テーマ「学校・家庭・地域が「ともに」進めるこれからの学校づくり」
～学校運営協議会でできること～

① どんな課題があるか？またはどんな願いがあるか？

（現在感じている課題、問題点、願い（子どもたちの様子、学校や地域の現状など））

意見

- ・人材の発掘と育成（だれでもよいわけではない）
→思いがある人はたくさんいるはず。
- ・既存の組織に新しく入ることへのハードルの高さ
- ・地域からすると学校の敷居はまだ高いと感じる。
- ・地域と学校（先生）との結びつき。知り合えないのが残念。
- ・管理職以外の先生と地域との接点が少ない。
- ・先生は、土日に出勤するのに抵抗感がある。先生たちの働き方改革が推進されていて声かけも難しい。
- ・地域学校協働本部の活用。
- ・人材バンクのようなものが必要。
- ・学校だよりにボランティアの募集をかけると色々な人が来てしまう。そうすると断るのが大変。
- ・名札もないので子どもたちの名前が覚えられない。
- ・名前を呼び合い気楽に話せる環境づくり。

② どんなことができるか？（学校、家庭、地域が「ともに」できるアイデア）

意見

- ・学校に対するお手伝いなどで地域との交流の機会を増やす。
- ・子どもたちに稲刈りの指導がしたい。一回見ただけではわからない。
- ・子どもたちへの食育。
- ・地域の人が学校に自由に出入りできる。
- ・一緒に作業する →顔が見えると距離が近づく。
- ・いつでも、だれでも、気軽にできるときに参加できるような活動。
（かっちりしすぎない、ゆるく）
→はっぱ隊として活動していると、参加したいという地域からの声がある。
- ・はっぱ隊の活動を子どもや先生も気軽に参加できるとよい。いつでも、だれでも気楽にできる感じで取り組めるとよい。
- ・ミシンやプールなどのカリキュラムにそった案内と好きなときに参加できるものに分けて募集すると人が集まりやすいのではないか。
- ・子どもも先生も地域の人、だれでも好きにいつでも来ていいよ…「やりたい」と「やらされる」は違う。のぞいてくれる、顔を出してくれるだけでよい。
気楽に！
- ・懇談会を工夫すると人が集まり、かかわりが生まれるのでは。
- ・本町小の子どもたちは人なつこい。若い先生が増え、話しやすい雰囲気がある。
学生ボランティアとしてモ小学校に恩返しをしたい。
- ・地域とのかかわりを土日に限らず、平日に行う。田植えの事前指導はよかった。